

## 北栄町防災会議

北栄町防災会議を開催しましたところ、年度末のお忙しいところ、ご出席いただき、感謝申し上げます。

また、日頃より、町の防災行政の推進にご理解とご協力をいただき、重ねて感謝申し上げます。

さて、今年に入ってたて続けに地震や大雪などの災害があり、本町にも被害があったところです。特に私個人としては反省しておりますのが、1月6日に起きました島根県東部地震でその時間に米子にいましたが、揺れた時機の下に入って身を守るよう訓練していましたが、いざその時は机に手をついたまま耐えていたということで、大変残念なことであり、大いに反省したところです。詳細の内容については、本日の会でも報告がありますが、とくに大雪による災害では、農業ハウスの倒壊などの今後の生活にも大きく影響するものとなっています。県や関係団体の連携をとりながら、復旧支援を行っているところです。

令和7年度は、情報配信アプリを導入し、さっそく先ほどの地震のときには機能したところです。また災害時における電源供給などの協定など防災に関する協定を締結したところです。また先月には、ガーディアン72災害支援プロジェクトとして、鳥取県内町村とG72官民協働事業推進協議会とで支援備蓄の協定を締結し、昨日先方から現地確認がありましたが、今後、72時間の生活必需品の備蓄品が入ったボックスが無料で配布されることになりました。

ことしの10月には「ぼうさいこくたい」が倉吉市を中心に開催されることと平成28年に発生した鳥取中部地震から10年という節目の年であることで、本町での防災力の向上の期ととらえ、関係機関と連携した訓練を実施することも

検討中です。

昨日、令和8年度当初予算を可決していただきましたが、「暮らしの安心を育む」、「地域の誇りと活力を育む」、「次世代への責任を育む」～三つの育むで創る確かな未来～を町政運営の柱としました。その中の「暮らしの安心を育む」の中では、住宅の耐震化支援の大幅な拡充や避難所にもなる小中学校の体育館の空調整備を前向きに進める、由良川水系の洪水想定の見直しを反映したハザードマップを作成し、全戸配布して、安心なまちづくりを推進する、そして引き続き、自主防災等の組織強化や防災士の育成推進など防災に関する予算や取り組みを重点的に配分したところです。

このように令和8年度も防災を強く意識した取り組みを行っていきたいと思っておりますので、皆様のご理解とご協力をよろしく申し上げます。

本日の会が皆様にとりましても有意義な会となりますことを祈念して、開会にあたってのごあいさつといたします。

令和8年3月25日

北栄町長 手嶋俊樹